



家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

政田真吾さん 舞さん 蓮人くん
心菜ちゃん 楓夏ちゃん 琉心くん (神崎)

神崎に住む政田さんファミリー。毎年夏には川や海でバーベキューを楽しむ仲良し家族です。

ソフトボールのスポーツ少年団に所属し、キャプテンを務める蓮人くん。「バッティングや捕球の仕方を教えてくれる」と話すように、保護者コーチを務める真吾さん指導のもと、毎週末練習に励んでいます。家でも素振りを行うなど努力を怠らない蓮人くんは、昨年度6年生と一緒に出場した県大会で見事ホームランを打ちチームを優勝へ導きました。真吾さんが、「いるだけで周りが明るくなる」とたたえる舞さんも、毎週練習を見に行くなど蓮人くんを支えています。

そんな舞さんは、子どもの頃から一輪車が得意。舞さんに乗り方を教えてもらった心菜ちゃんは、日本舞踊で鍛えた体幹を生かし、すぐにコツを掴んで乗りこなしています。心菜ちゃんに負けじと何でも挑戦したがる楓夏ちゃんは、ストライダーや補助輪付きの自転車に乗って、「速いんよ」と得意げ。琉心くんは自分が選んだ絵本を読んであげるなど、すっかり立派なお姉ちゃんです。

久しぶりに、家族で旅行やキャンプに行きたいと話す政田さんファミリー。これからも6人で楽しい思い出を作っていきます。

今回は、舞さんと楓夏ちゃんのお友達、芦原聖恵さん、穂奏ちゃん=筒井=ファミリーをご紹介します。

◎ PROFILE

まさだ・しんご 会社員。おつまみ系の料理が得意。楓夏ちゃんにおもちゃのキッチンを作るなど DIY もお手のもの 松山市出身
まさだ・まい 主婦。食べることが好きで、クッキー、ケーキやグミなどお菓子作りが得意 神崎出身
まさだ・れんと ソフトボールのポジションはキャッチャー。バーベキューでは炭をおこすなど頼もしいお兄ちゃん 小6
まさだ・ここな 日本舞踊歴6年。上手く踊るコツは「緊張しないこと」。大人顔負けの度胸の持ち主 小4
まさだ・ふうか ブロック遊びが好き。お姉ちゃんと遊ぶお店屋さんごっこに夢中 3歳
まさだ・りゅうしん みんなに愛されながらすくすく成長中 5カ月

Boys&Girls, Be Kids Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

岡田小学校6年生の9人は、学校行事の運営や学校全体の話し合いを取りまとめる、運営委員会のメンバーです。

運営委員になったきっかけを、「学校の中心となる仕事だから、やっておこうと思った」と話す大崎友晴さん。去年から運営委員を経験している大下璃音さんも、「6年生とやってみて楽しかった。私も最高学年として活躍したいと思った」とほほ笑むように、運営委員の6年生は、下級生にとって憧れの存在です。そんな自分たちの役割を自覚している清野碧央さんは、「下級生やみんなが誇れるような学校行事を運営したい」と意気込み、澤田希粋さんも、「運動会の司会など、やりたいことにチャレンジして成長したい」と希望に胸を膨らませています。

實藤翼輝さんが、「小学校の運動会は、今年で最後。緊張感を持って、大切に組みたい」と話すように、6年生にとっては、これから行われる全ての行事が小学校最後の思い出。そんな思い出が少しでも良いものになるよう、松本都来さんは、「司会を務めるときは、しっかり内容が伝わるように、読む速度や声の大きさ



に気をつけたい」と目標を掲げています。

これからの岡田小学校を、「いろんな学年が仲良く楽しい学校にしたい」と話す福嶋美陽さんに、「やるときはやる、楽しむときは全力で楽しめる学校にしたい」と話す大石明依さん。末光彩良さんが「コロナ禍で学校行事が少なくなっても、みんなで楽しみたい」と願うように、笑顔いっぱいの学校になるよう、みんなを引っ張っていきます。

今回は私が、松前町夏の風物詩「はんぎり競漕」について紹介します。



愛媛大学社会共創学部2年生

河内裕里さん
Kouchi Yuri

松前の魅力伝え隊

町民が松前町の魅力を取材します

皆さんは、まさき町夏祭りで開催されている、「はんぎり競漕」を知っていますか。直径1メートル程の「はんぎり」に乗り、体の上下運動だけで海上を進むレースです。私は小学校5年生のときに初めて体験し、現在まで継続して大会に参加してきました。その中で、「はんぎり競漕」が松前町にはなくてはならないものだと感じ、大学では地域の伝統文化などについて学びながら普及・啓発に取り組んでいます。

2月14日、「世界の果てまでイッテQ」に取り上げられたことで、「はんぎり競漕」は全国に発信され、注目されました。これをきっかけに、より一層力を入れて活動しています。活動の中でも、「松前TV」というYouTubeチャンネルへの出演で、「はんぎり競漕」の新しい価値を見出すことができ、たくさんの方に体験してほしいという気持ちが強くなりました。

昨年の夏祭りは中止でしたが、今年は大会以外にも体験イベントを行い、「はんぎり競漕」を気軽に楽しめるものにできたらいいと思っています。はんぎりを通したコミュニティの場を作り、「はんぎり競漕」が町民の皆さんに愛され、いつまでも地域に大切にされる文化になるよう活動していきたいです。



このコーナーは、広報担当者ではなく町民の皆さんがカメラを持って、松前町の魅力を取材します。取材してくれる人を募集中です。詳しくは、総務課広報広聴係(☎985-4132)に連絡を。

Reporter



テレビ収録の様子



白熱のはんぎり競漕

▼編集後記
「感染対策期」が延長されました。県内で陽性者確認のニュースが飛び交うことに、何となく慣れてしまっただけでも、状況は深刻なもの。巻頭ページでお知らせしたように、一人一人が感染予防を徹底するだけでなく、人の接触を減らすことが重要です。楽しみにしていたGW。旅行にも行きたいし友達とも遊びたい。そんな気持ちをぐっぐっこらえて、外出を減らしましょう。お家時間のお供には、ぜひ町公式YouTubeチャンネルを。 (酒井) 広報担当2年目を迎え、1年ぶりに入学式・入園式を取材しました。昨年と比べると少し余裕が生まれ、カメラ越しに新入生の表情をうかがえるように。新生活がスタートした皆さんの、マスクをしていても伝わる晴れやかな表情が印象的でした。役場も4月から新体制になり、新しい部署の設置や窓口の変更などを行っています。10・11ページに庁舎のフロアマップを掲載していますので、ぜひ来庁時の参考にしてくださいね。(加藤)